

めぐみバプテスト教会の糧

ヨハネ三章十六節

湯浅 修

「神は、実に、そのひとり子をお与えになつたほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」
（ヨハネの福音書三章十六節）

宗教改革者マルチン・ルターは、ヨハネ三章十六節を「小さな聖書」と呼び、「世界中の人に見えるように、大空に掲げたい」と言いました。それは、聖書全体のメッセージが、ここに凝縮されているからです。

「もし、私が今、もう問もなく、この世を去ろうとしている人のベッドサイドで、神様があと五分間さうたら、私は、ゆつくりと、そして、心を込めて、ヨハネ三章十六節を繰り返し、繰り返し語りたい。」
（ある牧師のことば）

この節は、神様からの「ラブレター」と言われています。毎日、あなたの元に何通かの手紙が配達されて来ます。ある手紙は、開封されることなく捨てられ、ある手紙は、そんなに重要ではありません。又、ある手紙は、差出人を見れば、だいたいの中身が想像できるでしょう。その中で、あなたが最も嬉しい手紙は、あなたの知っている方からの個人的な手紙ではないでしょうか。

実に、ヨハネ三章十六節は、神様から、あなたに個人的に書き送られ、届けられた、古くて新しい手紙なのです。

「人は一人で生きていくのではなく、神の口から出る一つ一つの言葉に生きる。」
（マタイ4章4節）

一．この手紙の「差出人」

「神は、実に、……」
すべて配達された手紙は、差出人が存在します。差出人がいない手紙などはあり得ません。この手紙は、神様から、あなた宛に送られてきた、ラブレターです。あなたが、総理大臣より個人的に、招待状を受け取られたのなら、何という光栄、名誉なことでしょうか。そして万難を排して、総理大臣に会いに出かけられることと思います。

しかしそれ以上に、あなたが、神様より個人的に、天国への招待状を受け取られたならば、これに勝る栄誉はありません。

二．この手紙の「受取人」

「神は、……世を愛された。」
次に、この手紙の受取人についてです。それは、「あなた」です。

第二次世界大戦時、アメリカのある町に、若い出征兵士が何千人と待機している基地がありました。その町に住む一人のクリスチャンが、何とかして、これから戦地に赴く彼らに、イエスキリストにある永遠の命を伝えたいと思いましたが、基地内に立ち入ることは許されませんでした。そこで、ある会社にある物を注文したのです。それは、表に、ヨハネ三章十六節を印字した、直径約9cmの少々変わった鏡でした。彼は、鏡の下に次のようなメッセージを残したのです。

「もし、神が、こよなく愛しておられるのは誰かを知りたいければ、どうぞ、裏を覗いてください。」
果たして、そこに映つたのは……

三．この手紙が書かれた「インク」

それでは、何が、この手紙をこんなに重要なものにしただけでしょうか。それは、この手紙が「イエスキリストの血」により書かれているからなのです。血清は、皮肉にも、前世紀戦争最大の発見であると言われていました。瀕死の兵隊が、血清の投与を受けると、見る見るうちに回復していったのです。

暫く前の話になりますが、ビリー・ミラーは、当時四才の男の子でした。ベイラー大学は、病気のビリーに血液を、二七日間、提供し続けましたが、血液が底を尽きてしまったのです。全米の新聞が、このニュースを取り上げ、ボストン・ワシントンから、血液の提供があり、こうして、ベイラー大学血液センターの血液は満ちたのです。その後、一年以上に渡り、血液が投与されましたが、ビリーは亡くなりました。多くの人が、一人の若い少年のいのちを救おうとした、感動的な実話です。

しかし、イエスキリストの血は、永遠に人を生きながらえさせる力があるのです。一人の血（キリスト）により、多くの人が生かされるのです。

「こういうわけで、ちょうど一つの違反によってすべての人が罪に定められたのと同様に、一つの義の行為によつて、すべての人が義と認められて、いのちを与えられるのです（ローマ7章）」

四．この手紙の「内容」

「……それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」
さて、キリストの血で書かれた手紙には、重要なメッセージが含まれています。それは、「キリストを救い主として、信じる者には、一人の例外もなく、罪赦され、永遠のいのちが与えられる」というメッセージです。

アメリカ司法の歴史を綴った記録の中でも最も奇妙な事例の一つに、ジョージ・ウィルソンという若者に関するものがあります。一八二九年十二月に行なわれた犯行で、ウィルソンと仲間のジェームズ・ポーターは、ペンシルヴァニア州東部の連邦裁判所で、6件の容疑で起訴されました。そのすべては、郵便物の配達を妨害したり、郵便物を盗んだというものでした。

そのうちの2件は、配達人の生命を危険にさらしたということで、有罪が確定し、両者は翌年7月に死刑を宣告されました。ポーターは、宣告通り死刑となりましたが、非常に多くの立派な嘆願者たちがウィルソンの命乞いをした為、大統領は、公式の恩赦を発し、大統領に代つて、国務長官が恩赦に署名をしました。そこには、大統領は「ジョージ・ウィルソンが死刑の宣告を受けている罪を赦し、その刑罰を免除した。」と記してありました。

しかしここで、誰も予想だにしないことが起こりました。なんとウィルソンが、恩赦を拒否したのです。法学の分野で最も著名な人々が呼ばれ、どうすべきかが話し合われましたが、遂にこの件は、最高裁判所に持ち込まれることになり、当時の最高司法機関は、全員一致で次の如く決定を下しました。
「当事者が受け入れるまで、恩赦は無効である」と。
（裏面に続く）

めぐみバプテスト教会

東京都多摩市永山6-2-5永井ビル2F

Tel. 042-374-2311

FAX 042-374-2311

木曜日 夜 7:00～8:30 祈り会

日曜日 朝 9:30～10:25 日曜学校

朝 10:45～12:15 礼拝

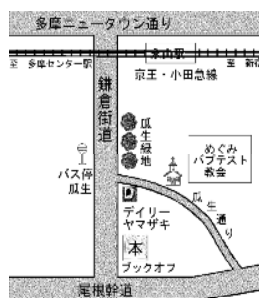
牧師：湯浅 修（ゆあさおさむ）

メール：qrldgp763@ybb.ne.jp

携帯Tel：080-5053-9206（湯浅）

ホームページ：「めぐみバプテスト教会」

と検索してください



五二の手紙への返信

その後の話を続けます。

ジョン・マーンシャルというアメリカではもつとも有能な法律家の一人で、連邦政府最高裁判所の主判事は、その決定を以下のよう

に記しています。

「恩赦とは、赦しを提供された者の受け取り方により、効力を発揮する。死刑判決を受けた者が、恩赦を拒否するとは驚くべきことである。しかし恩赦を拒否した者には、これ以上赦しはない。よって、ジョージ・ウィルソンを絞首刑に処する」

「恩赦」を出した大統領は、ウィルソンを愛したからでもない、又個人的にも知らず、関係のない人間でした。大統領は、自分のペンを取り、サインをしただけに過ぎず、何の犠牲も払うことも、涙を流すこともなかったのです。当時の人々は、ウィルソンの行為をどう思ったのでしょうか。「ウィルソンは、大変愚かなことをしたものだ。赦しを信じて、感謝して、受けいれるべきだったのに！」と、誰しもが思ったことでしょう。今、あなたもそのように思われることでしょうか。

皆さん、人はみな、神の御前には、罪人なのです。聖書は次のように語ります。

「罪から来る報酬は死です」(ローマ書)

「キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。ですから、今すでにキリストの血によって義と認められた私たちが、彼によって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。」(ローマ書)

イエス・キリストは、ご自身の命を犠牲にされ、その尊い血を流されました。私たちは、神を神と認めず、自己中心的な生き方(これを罪と言います)を悔い改め、イエス・キリストを救い主として信頼するならば、永遠のいのちを得ることができるようになります。

あなたも、あのウィルソンの犯した過ちを繰り返すことなく、あなたを愛し、あなたのためにいのちをお捨てになった、イエス・キリストの「恩赦」を、信じて、感謝して、受け入れくださるよう、心よりお奨め致します。どうか、この手紙に、「はい」とご返信くださいますように・・・

(★「めぐみの糧」バックナンバーNo.1～6は、ホームページ上でお読みいただくことができます★)

パステルアート教室のご案内

絵を描くということは、セルフヒーリングにつながります。

色を楽しむということも、心を開放したり、内面を見つめるのに役立ちます。

パステルは穏やかで温かい“光”を表現するのにとてもすぐれた素材です。

色と色がまざること、そこから思わぬハーモニー(調和)がうまれます。

やさしくて心地よく、そして透明感のある“世界でたったひとつのあなたの作品”

を描いていきましょう！

毎回、1枚の絵を仕上げます。(初心者大歓迎！)

第2・第4 水曜日 10時～12時 または 午後1時半～3時半

月謝： 3000円

入会金：3000円 (いつでも見学できます)

場所 めぐみバプテスト教会

お申込み、お問い合わせ先

JPHAA公認準インストラクター 上嶋(かみじま) ひとみ

：080-6671-7687

メール：awaken1103@yahoo.co.jp

(*ホームページに、パステルアート作品が掲載されています)

めぐみバプテスト教会の8月のご案内

1. 8/21(木)～22(金) 午前10時～12時 ～夏期学校～

(小学生の皆さん、聖書を一緒に読みませんか？お菓子、プレゼントを用意してお待ちしています)

2. 8/25(月)～30(土) 午前 9時～12時 ～教会を開放します！～

(夏休みの宿題が残っている小・中・高生の皆さんは、是非、教会においでください、お手伝いします！)

(*教会の集会は、どれもすべて無料です)

めぐみバプテスト教会は、あなたのお役に立ちたいと願っています。聖書は人生のすべての悩み、苦しみに解答を与えています。どなたでも、お越しいただけます。ご来会、ご連絡、心より御お待ちしております。(牧師、湯浅修)

”すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。(マタイによる福音書11章28、29節)(‘わたし’とは、イエス・キリストです)

あとがきにかえて

「めぐみの糧」第7号をお読み下り、ありがとうございます。
今号は、「小聖書ヨハネ三章十六節」について書いてみました。こんなにも短い聖句ですが、そのメッセージは、何と壮大なのか！と驚嘆させられます。左記の通り、八つに分解されます。

1. 天地宇宙で最高の方
「神」
2. 地上で最高の方
「キリスト」
3. 最大の愛の表現方法
「与える」
4. 犠牲の最大の原因
「世」
5. 世界最大のもの
「神の愛」
6. 救いの最大の方法
「信じる(信頼する)」
7. 人類最大の損失
「滅び」
8. 人類最大の幸福
「永遠のいのち」

「ただこの一節さえ残れば、たとえ聖書全体が失われても、なお救いは何であるかを知ることができる」
(ムーディ、アメリカの大衆伝道者)
「この節は、狭い部屋に納められた絶大な富である」
「この節は、新約聖書の富士山である」
(新島襄、同志社大学創立者)

